

令和7年度（ 2025）乗務員教育計画 予定表 【 バス】 栃木交通バス株式会社

	主 な 行 事	重 点 項 目	教 育 内 容	実 施 日	担 当	管理職 指導職会議
4月	春の交通安全運動全体研修	・重点実施事項の周知 ・栃木県3S運動の推進/夜間ハイビームの徹底 ・パワハラ、セクハラ防止の徹底 ・労働基準法、改善基準の告知、周知徹底 ・ドライブレコーダーの記録を利用したヒヤリハット 事故等の事例共有し安全運転への指導、教育 1事業用自動車を運転する場合の心構え	※重点事項に沿った内容説明と注意喚起 * 就業規則にもとずき規則の周知徹底 * バス運転者の労働時間の基準について研修 * ヒヤリハット、事故等の映像をみて情報を共有し安全運転方法の方策を研修 ①事業用自動車の公共性と重要性、運行の安全確保、他の運転者の模範となる安全でマナーの良い運転の心構えについて ②道路運送法、道路交通法の理解及び遵守すべきポイントについて ③車高・車長、車幅、死角、内輪差及び制動距離の確認、車両火災の予防運動	4月中旬	社長 小川 藤田 中村	部長/課長 係長、指導職 班長
	第1回ドライバー全体実車研修	・技能 狭路通過・後退時における安全な誘導 ・学科 道路運送法、道路交通法の理解	* 鋭角、狭路、方向転換、右左折時の安全確認方法、安全な後退するための方策を実車研修 * 学科教本をもとに交通標識、交通ルールの確認と知識の教育。	4月中	栃 交 自動車学校 石崎 小川 藤田 中村	
	運転適性診断の受診(適齢、一般)	・運転者の運転適性に応じた安全運転	* 「適性診断の結果に基づくカウンセリング、並びに個々の運転者の特性を自覚させる指導」	4月～年度内	栃 交 自動車学校 交通心理士	
	身体能力(視覚)の測定 脳MRI検診(対象者)	・静止、動体、夜間視力の測定結果と運転行動 ・脳梗塞、動脈硬化検査の重要性	* 視覚による身体能力の低下と運転への影響 * 3代疾病に起因する要因の検査と治療	4月中	小川	
	第1回事故安全対策委員会	前年度事故発生状況	発生件数、発生状況共有、再発防止策の検討	4月中	社長 管理職	検討会議 管理職
5月	春のシーズン無事故、無違反強化月間	春のシーズン事故防止注意喚起の徹底	* 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止/自転車の安全利用の推進 全席シートベルト、チャイルドシート着用の徹底 飲酒運転の根絶	5月中	点呼執行者 小川・藤田 藤田	
	脳MRI診断結果通知 SAS無呼吸症候群検査	・脳MRI診断結果に基づく健康管理の留意点 ・無呼吸症候群の検査の実施(対象者)	* 3代疾病に起因する要因の検査と治療 * 無呼吸症候群による事故防止	5月中	小川	
	シーズンの無事故無違反強化月間	・シーズンの事故防止注意喚起の徹底	* 全席シートベルト着用、車内事故防止、着席案 内の徹底。携帯電話使用、あおり運転防止			
6月	管理者による立ち合い点呼	確実な点呼業務の実施	* 点呼執行者の厳正な点呼実施内容確認、指導教育	6月中	点呼執行者 小川・藤田 統括運行 管理職	
	ディーズルクリーンキャンペーン月刊	・エア・クリーナーの点検・清掃 ・アイドリングストップ・安定走行の強化	* 整備課にて実施/見学及び実技指導 * 現場指導教育の徹底		田村 小川・藤田	
7月	夏の輸送安全総点検研修	・重点実施事項の周知 ・ドライブレコーダーの記録を利用したヒヤリハット 事故等の事例共有し安全運転への指導、教育 4.乗車中の旅客の安全を確保するために留意すべき事項 5乗客が乗降するときの安全を確保するために留意すべき事項 6運行経路、又は営業区域における道路及び交通の状況	* 重点事項に沿った内容説明と注意喚起 ①車内事故防止対策として事例を基にヒヤリハット研修・シートベルト着用の徹底 ②梅雨期の安全について指導 3適切な車間距離の確保・異常気象時の対応 ①乗降口の開閉時における事故防止等の指導教育 ①路線又は運行経路の交通状況の把握指導	7月中	社長 小川 藤田 中村	部長/課長 係長、指導職 班長
8月	飲酒・過労運転防止強化月間	・飲酒が身体に及ぼす影響/睡眠時間の確保 ・適切な休息期間並び運行中の休憩時間の確保	* 出庫時点呼における運転者の睡眠、疲労、疾病、受け答え、顔色、アルコールチェックの確認	8月中	点呼執行者 小川・藤田	
	車内事故防止強化月間	・シートベルト着用案内の強化	* 発進時の着席案内、円滑な発進と加速			
9月	秋の交通安全運動全体研修 栃木交通バス〔 大研修室〕	・重点実施事項の周知 ・労働基準法、改善基準の告知、周知徹底 ・ドライブレコーダーの記録を利用したヒヤリハット 事故等の事例共有し安全運転への指導、教育 7危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法 8運転者の特性に応じた安全運転の指導 9交通事故に係わる運転者の生理的及び心理的要因とこれらにおける対応方法	※重点事項に沿った内容説明と注意喚起 * バス運転者の労働時間の基準について研修 * ヒヤリハット、事故等の映像をみて情報を共有し安全運転方法の方策を研修 ①危険予知訓練の実施及び危険回避の方法の周知並びに事故発生時、災害時における対応方法の指導 ②過労運転防止とサービス向上について指導 3睡眠不足による過労運転防止及び接客態度について * 適正診断の結果に基づく個々の運転者の特性を自覚させる指導 ① 過労、睡眠不足、飲酒、慣れ、過信運転等、交通事故の要因となる状態を理解させるための指導	9月上旬	社長 小川 藤田 中村	部長/課長 係長、指導職 班長
10月	秋のシーズン無事故無違反強化月間 アイドリングストップ強化月間	・秋のシーズン」事故防止注意喚起の徹底 ・アイドリングストップ・安定走行の強化	※出庫時点呼における厳正な点呼、指導教育 ※アイドリングストップの必要性/現場指導の徹底	10月中	点呼執行者 小川・藤田	
11月	秋のシーズン無事故無違反強化月間 飲酒・過労運転防止強化月間	・「 秋のシーズン」事故防止注意喚起の徹底 ・飲酒が身体に及ぼす影響/睡眠時間の確保 ・適切な休息期間並び運行中の休憩時間の確保	* 出庫時点呼における厳正な点呼、指導教育 * 出庫点呼時における運転者の睡眠、疲労、疾病、受け答え、顔色、アルコールチェックの確認	11月中	点呼執行者 小川・藤田	
12月	年末年始輸送安全総点検研修 年末交通安全運動全体研修 栃木交通バス〔 大研修室〕	・重点実施事項の周知 ・ドライブレコーダーの記録を利用したヒヤリハット 事故等の事例共有し安全運転への指導、教育 10健康管理の重要性について 11全性の向上を図るための装置に備える事業 自動車の適切な運転と方法 12非常信号用具、非常口、消火器の取り扱いの指導	* 重点事項に沿った内容説明と注意喚起 * ヒヤリハット、事故等の映像をみて情報を共有し安全運転方法の方策を研修 ①疾病に起因する交通事故事例の説明及び定期診断による生活習慣病の改革を図る指導 ①安全性の向上を図るための装置に係る説明、装置事故の事例性能及び留意点の指導 ①赤旗、発煙筒、その他の非常信号用具 非常口の脱出方法、消化器の取り扱い	12月初旬	社長 石崎 小川 中村	部長/課長 係長、指導職 班長
	健康診断の受診(定期診断)	・健康管理の重要性について	※疾病に起因する交通事故事例の説明及び定期診断による生活習慣病の改革を図る指導		小森谷	
	脳MRI検診(対象者)	・脳梗塞、動脈硬化検査の重要性	* 3代疾病に起因する要因の検査と治療		小川	
	視野障害・大血管・心臓検診(対象者)	・視野欠損・心臓疾患検査の重要性				
	管理者による立ち合い点呼	確実な点呼業務の実施	* 点呼執行者の厳正な点呼実施内容確認、指導教育	12月中	統括運行 管理職	
	第2回事故対策安全委員会	今年度事故発生状況	発生件数、発生状況共有、再発防止策の検討		社長 管理職	検討会議 管理職
1月	定期健康診断結果通知 脳MRI・視野診断結果通知	・定期健康診断結果に基づく健康管理の留意点 ・脳MRI診断結果に基づく健康管理の留意点	* 生活習慣病の予防と再検査者への指導 * 3代疾病に起因する要因の検査と治療	1月中旬	小森谷 小川	
2月	雪道、山道技能研修	・タイヤチェーンの適切な着脱 ・雪山の上り坂、下り坂、カーブ等の注意事項 ・雪道の事故事例 (雪道の怖さを知る)	※チェーンの着脱方法、着脱場所の選定 ※排気ブレーキと加減速ギアチェンジ操作 ※雪道、山道における危険予測と状況判断	2月初旬	小川 藤田 班長	
3月	栃交グループ進発式 年度末全体研修	・1年間の反省及び新年度に向けての目標 ・社長、来期に向けての挨拶/訓育	※反省、抱負、目標についてそれぞれが発表	3月上旬	社長 小森谷	
	石橋消防署において救急救命講習	・正確、迅速な応急救護処置(生死を分ける5分)	※事故後の5分間、心肺蘇生法について	3月中	小川	